

ESTUCO WALL

—REVOCO—

レボコ【外装材】

施工要領書

Vol.6



施工動画



施工前に必ずお読み下さい。

-----厳守する事-----

①施工中・施工後・乾燥するまでの間に、塗った面に水をかけない。
(外壁は、通気を良くし十分に乾くまで雨水が当たらないようにする)

②水に濡れたコテ、ハケをそのまま使用しない。

※①・②を守らない場合、乾燥後白い模様が入ります。

-----注意事項-----

①エスタコウォールは粉製品のため保管は、乾燥した冷暗所で保存して下さい。

②練り置きができません。必要量を練って、使い切るよう使用して下さい。

③自然素材の為、石灰成分の茶色の小さい粒が混ざっている場合があります。
色ムラになることがあるので、施工前に取り除いて下さい。

④アルカリ性の為、木材と触れ合うと木が黒ずむことがあるので事前に十分な養生が必要です。

⑤夏季：直射日光が当たる壁面の施工は、ドライアウト現象（急激な乾燥）が起こり「はく離」・「割れ」の原因となります。施工時間帯等を工夫して下さい。

冬季：施工中・施工後・乾燥までの間に5℃以下になる場合はく離・白華現象・表面が粉っぽくなる場合があります。施工を避けて下さい。

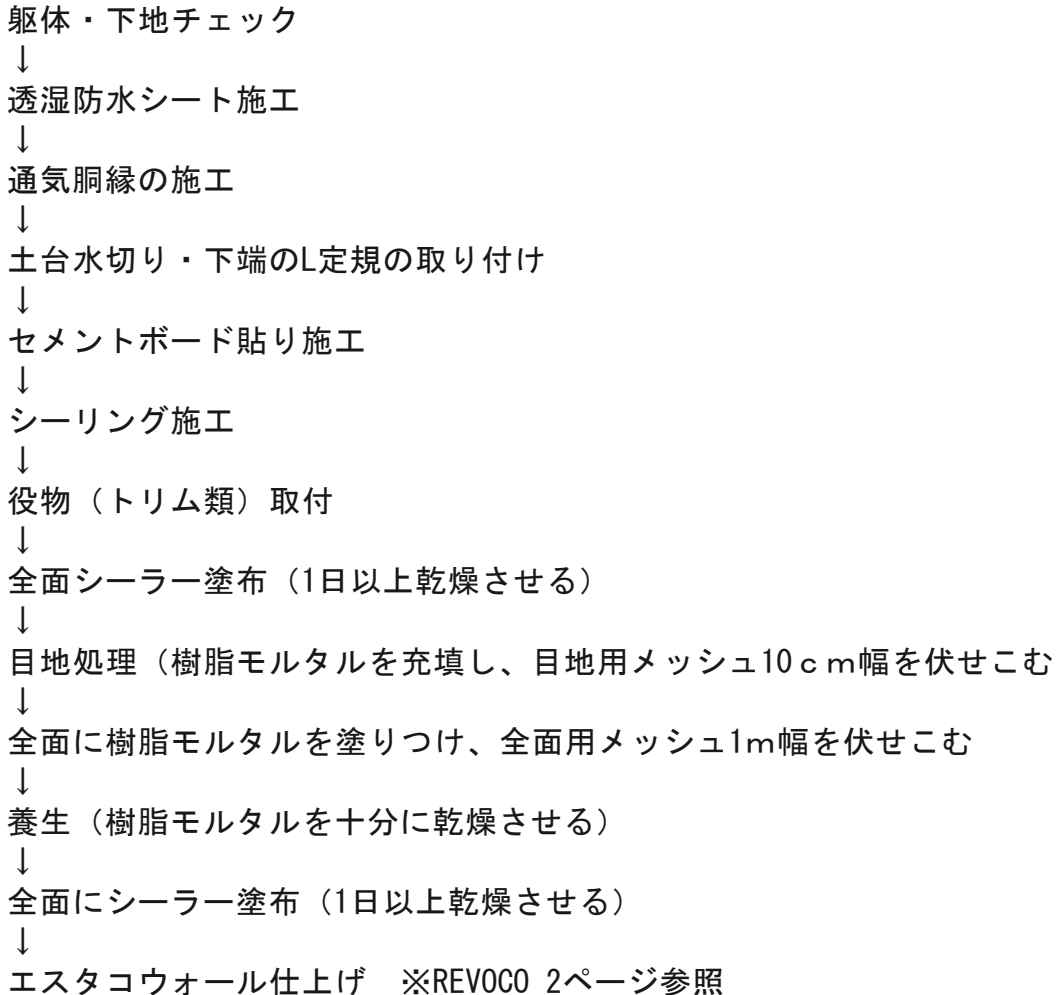
PROHOME ODAI

下地処理について

※推奨下地材【セメントボード下地材】についての詳細は、別途お問合せ下さい

エスタコウォール推奨品【セメントボード下地材】を使用される事をお勧めします。

●セメントボード施工フローチャート



シーラーについての特記事項

シーラーは【コンクリート用】【モルタル用】等下地に合わせてご使用下さい。

<推奨品>・NSハイフレックス(日本化成)

<特記>NSハイフレックス5倍液(ハイフレックス:水=1:4)シーラーを施工面に塗布。

- ・塗りつけ作業時の気温が5℃～35℃以外の時は作業を避けて下さい。
- ・夏季で1昼夜、冬季で2昼夜は雨水で濡らさないようにして下さい。
- ・風の強い日の作業も、乾き過ぎの恐れがありますので、表面強度を確認しながら作業を進めて下さい。
- ・施工後は雨水・結露を完全に避けるよう雨水・湿気対策養生をして下さい。

下地処理の注意事項

- ・下地表面は不陸の無いよう均等に塗って下さい。くぼみ、溝等があると白華等の原因となることがあります。
- ・同一面に異質材が並存しているときは、そのまま漆喰を塗ると水引具合の関係から色むらの原因となることがあります。

外装施工手順

※施工前には必ず試し塗りをして下さい

●外装:エスタコウォール仕上げ ※仕上げ材の作り方、下記参照

1. エスタコウォール仕上げ材をコテで下コスリする。
2. 下コスリしたエスタコウォール仕上げ材が乾かないうちに、追っかけで塗り付け施工する。

※エスタコウォールを下コスリあわせて約5mm以上均等に不陸のないよう施工して下さい。
※色の濃いものは、仕上げ方により色ムラになる場合があります。

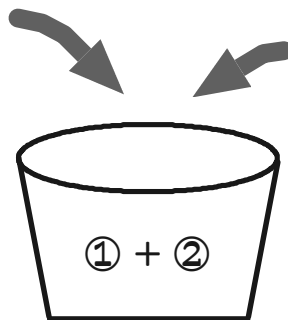
●外装:エスタコウォール仕上げ材の作り方

①清水5ℓ程度に

ウォールマイティ1袋の1/3を入れる
(かき落とし仕上げの場合は、繊維質が表面に出る為、不要)

水にウォールマイティを入れ、かき混ぜる。

注：ウォールマイティをエスタコウォールに直接入れるとダマになります。
掻き落とし仕上げの場合は、表面に繊維が出ます。各施工店でご検討下さい。



②エスタコウォール 1袋(24kg)を入れる。

①にエスタコウォール・レボコ1袋を加え、モルタル状にする。
(水加減を確認しながら徐々に水を加え適度な固さに練りあげる)

ウォールマイティ

エスタコウォールにウォールマイティを加えることで、ヒビ割れ防止効果を発揮します。

注意：使用条件によっては、ヒビ割れが発生する場合があります

<特記>ウォールマイティ（ヒビ割れ抑制剤）90g/1袋 ※エスタコウォール3袋にウォールマイティ1袋必要

下記の場合、施工を避けて下さい

- ・酷暑時で、施工面に直射日光・西日が当たっている時又は、下地が高温の時
- ・梅雨などの湿度が高い場合
- ・施工後、施工中・乾燥までの間に5℃以下になる場合

施工上の注意

- ・他の塗料の調合は避ける（ただし、同じ素材は混ぜても問題はない）
- ・色むらを防ぐため、最初に空合わせを十分して下さい。
- ・施工面に振動を与えるような作業を終えてから塗り壁工事を始める。

白華現象

◆白華現象について

白華（はっか）とは、漆喰やコンクリートの表面部分に浮き出る白い生成物のことです。これが浮き上がる現象を白華現象をいいます。白華が生じたとしても、強度には問題はなく生成物も無害ですが、外見上の問題となることがあります。これらの白い跡形は、漆喰粉に水を加えた時の反応により生成される炭酸カルシウムです。

起こりやすい環境

施工時・施工後・乾燥までの間に低温（5℃以下目安）になる場合
多湿時での施工

*ホワイト色以外、特に色の濃いエスタコウォールを使用する場合は、特に白華現象が気になることがありますので、工期中の気候（気温・湿度）・養生（雨水・通風）を十分検討の上での着工が必要です。

◎乾燥後、白い模様・液ダレのような白い跡が残りますので、以下は厳禁です！

- ※施工中、水に濡れたコテ、ハケをそのまま使用した場合
- ※完全に乾燥していない状態で施工面に水打ちしたり雨に打たれた場合
- ※シート養生などで通風が不十分で、湿気がこもってしまった場合

《対策》

- ・エスタコウォール塗り面が十分乾燥した後（最低でも2、3日）は塗り面を触らない、施工後はしっかり通風・雨水養生が必須です。
- ・市販の白華防止剤がありますが、施工中・施工後の条件により、完全に白華現象を防止できるものではありません。

メンテナンス方法

クラックの補修

- ①施工乾燥後クラックの補修をする場合は、同色のエスタコウォール・レボコを細かい目のふるいにかけて骨材を取り除き、適量の水と少量のシーラーを混ぜペースト状に練って下さい。
- ②クラック箇所を水で濡らし、①をハケやコテでクラック箇所に埋め込んで下さい。
- ③乾燥後、余分なエスタコウォール・レボコをウエス等で拭き取り、周りの塗り面となじませて下さい。

※補修した箇所と最初に塗った箇所とでは色や表情が合わない場合があります。

※シーラーの量が多いとテカリやすくなるので、混入の際は注意して下さい。

洗浄で汚れを落とす

雨だれ・排気ガス・カビ・藻による汚れが目立つ場合は、薬品洗剤による洗浄の方法、高圧洗浄（水圧で壁面を痛める恐れがありますので気をつけて下さい）もあります。

（ESTUCO WALL洗浄液のご購入は別途、お問合せ下さい）

●研修会・その他

- ・毎月1回程度、下記住所にて研修会を開催しております。詳細はお問合せ下さい。
- ・施工方法でご不明な点が、ございましたらお問合せ下さい。

株式会社 プロホーム・大台 資材部

〒519-2703 三重県度会郡大紀町滝原447-1

TEL:0598-86-3877 FAX:0598-86-3212 <http://estuco-wall.com>